

1) ハード対策の主な取組

具体的な取組の種別		目標時期	実施する機関													
種別	具体的な取組		釧路市	釧路町	標茶町	弟子屈町	鶴居村	釧路総合振興局	釧路地方気象台	北海道警察釧路方面本部・各警察署	釧路開建	厚岸町	白糠町	浜中町		
◆洪水氾濫を未然に防ぐ対策																
	河道掘削の実施	M	継続実施						河川改修工事の実施（釧路川、別保川） 河道内樹木の維持管理のあり方に基づき、河道内樹木の伐採や河道掘削を実施【道管理区間】				河道掘削を実施			
◆危機管理型ハード対策																
	堤防天端の保護（越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす対策）	M	継続実施						堤防の天端保護（舗装）対策箇所の検討及び実施							
◆避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																
	①要配慮者に配慮した情報伝達方法の検討	F	継続実施	高齢者等に配慮した様々な情報伝達方法の活用を検討する	高齢者等に配慮した様々な情報伝達方法の活用を検討する	高齢者等に配慮した様々な情報伝達方法の活用を検討する	高齢者等に配慮した様々な情報伝達方法の活用を検討する	高齢者等に配慮した様々な情報伝達方法の活用を検討する								
	②水防活動を迅速化できるよう既存土のうステーション等の資材を補充または防災資材備蓄施設の整備	K	継続実施	土のう保管場所における資材等の補充を行う	土のう保管場所における資材等の補充を行う	土のう保管場所における資材等の補充を行う	土のう保管場所における資材等の補充を行う	土のう保管場所における資材等の補充を行う	防災資材備蓄整備施設の検討及び整備				標茶地区河川防災ステーション、釧路地区水防拠点において資材等の補充を行う	土のう保管場所における資材等の補充を行う	土のう保管場所における資材等の補充を行う	土のう保管場所における資材等の補充を行う

一級河川

2) ソフト対策の主な取組

具体的な取組の柱		目標時期	実施する機関											
具体的取組	具体的取組		釧路市	釧路町	標茶町	弟子屈町	鶴居村	釧路総合振興局	釧路地方気象台	北海道警察釧路方面本部・各警察署	釧路開建	厚岸町	白糠町	浜中町
①迅速かつ確実な避難のための避難行動に関する取組														
◆情報伝達・避難計画等に関する取組														
① 避難勧告等の発令に着眼したタイムラインの策定及び精度向上を図る。	B C	継続実施	タイムラインの充実、避難勧告に着眼した防災計画の精度向上を検討【国管理区間】、別保川】	タイムラインの充実、避難勧告に着眼した防災計画の精度向上を検討【国管理区間】、釧路川【道管理区間】、別保川】	タイムラインの充実、避難勧告に着眼した防災計画の精度向上を検討【国管理区間】	タイムラインの充実、避難勧告に着眼した防災計画の精度向上を検討【国管理区間】	タイムラインの充実、避難勧告に着眼した防災計画の精度向上を検討【国管理区間】	タイムラインの充実、避難勧告に着眼した防災計画の精度向上を検討【国管理区間】	タイムラインの充実、避難勧告に着眼したタイムラインの内容充実及び精度向上に向けた検討【国管理区間】	タイムラインの充実、避難勧告に着眼したタイムラインの内容充実及び精度向上に対する支援【釧路川【道管理区間】、別保川】	タイムラインの充実、避難勧告に着眼したタイムラインの内容充実及び精度向上に対する支援を行う	タイムラインの充実、避難勧告に着眼したタイムラインの内容充実及び精度向上に対する支援【国管理区間】	タイムラインの充実、多機関連携型タイムラインの内容充実及び精度向上	タイムラインの充実、多機関連携型タイムラインの内容充実及び精度向上
①-2 洪水時における堤防や河川水位の状況など、河川管理者と市町村及び関係機関が情報共有を図る。【道管理区間】	B C N	継続実施	洪水時の堤防や河川水位の状況などの情報について河川管理者及び関係機関と情報共有する方法の検討	洪水時の堤防や河川水位の状況などの情報について河川管理者及び関係機関と情報共有する方法の検討	洪水時の堤防や河川水位の状況などの情報について河川管理者及び関係機関と情報共有する方法の検討	洪水時の堤防や河川水位の状況などの情報について河川管理者及び関係機関と情報共有する方法の検討	洪水時の堤防や河川水位の状況などの情報について河川管理者及び関係機関と情報共有する方法の検討	洪水時の堤防や河川水位の状況などの情報について河川管理者及び関係機関と情報共有する方法の検討	洪水時の堤防や河川水位の状況などの情報について河川管理者及び関係機関と情報共有する方法の検討	洪水時の堤防や河川水位の状況などの情報について河川管理者及び関係機関と情報共有する方法の検討	洪水時の堤防や河川水位の状況などの情報について河川管理者及び関係機関と情報共有する方法の検討	洪水時の堤防や河川水位の状況などの情報について河川管理者及び関係機関と情報共有する方法の検討	洪水時の堤防や河川水位の状況などの情報について河川管理者及び関係機関と情報共有する方法の検討	国管理区間の水位予測情報等の提供
② わかりやすい洪水予報及び気象情報等の提供	A	継続実施											・避難の切迫性が市町村や住民に伝わりやすい洪水予報伝達文へ改良（H28） ・警戒レベルの追記（R1） ・大雨特別警報の警報等への切り替えに合わせ、洪水予報（臨時）を発表（R2）	わかりやすい洪水予報等の提供
③ 市町村の避難勧告等の判断・伝達マニュアルの作成	B C	継続実施	【策定済】	各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容について職員向けのマニュアルを作成する	各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容について職員向けのマニュアルを作成する	各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容について職員向けのマニュアルを作成する	各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容について職員向けのマニュアルを作成する	各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容について職員向けのマニュアルを作成する	各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容について職員向けのマニュアルを作成する	各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容について職員向けのマニュアルを作成する	各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容について職員向けのマニュアルを作成する	各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容について職員向けのマニュアルを作成する	各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容について職員向けのマニュアルを作成する	各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容について職員向けのマニュアルを作成する
④ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域に基づいた地域防災計画の更新、長期化する浸水に対する避難受入体制等の検討	B D E H	継続実施	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域等に基づいて、避難場所、避難受入体制等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域等に基づいて、避難場所、避難受入体制等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域等に基づいて、避難場所、避難受入体制等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域等に基づいて、避難場所、避難受入体制等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域等に基づいて、避難場所、避難受入体制等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域等に基づいて、避難場所、避難受入体制等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域等に基づいて、避難場所、避難受入体制等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域等に基づいて、避難場所、避難受入体制等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域等に基づいて、避難場所、避難受入体制等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域等に基づいて、避難場所、避難受入体制等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域等に基づいて、避難場所、避難受入体制等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域等に基づいて、避難場所、避難受入体制等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する
④-2 水位周知河川以外の河川において、新たに水位周知河川に指定する河川の検討及び、想定し得る浸水区域や浸水深など水害危険性を周知する方法の検討・調整【道管理区間】	C E G	継続実施	水位周知河川以外の河川において、想定し得る浸水区域や浸水深など水害危険性を周知する方法について検討・調整する。	水位周知河川以外の河川において、想定し得る浸水区域や浸水深など水害危険性を周知する方法について検討・調整する。	水位周知河川以外の河川において、想定し得る浸水区域や浸水深など水害危険性を周知する方法について検討・調整する。	水位周知河川以外の河川において、想定し得る浸水区域や浸水深など水害危険性を周知する方法について検討・調整する。	水位周知河川以外の河川において、想定し得る浸水区域や浸水深など水害危険性を周知する方法について検討・調整する。	水位周知河川以外の河川において、想定し得る浸水区域や浸水深など水害危険性を周知する方法について検討・調整する。	水位周知河川以外の河川において、想定し得る浸水区域や浸水深など水害危険性を周知する方法について検討・調整する。	水位周知河川以外の河川において、想定し得る浸水区域や浸水深など水害危険性を周知する方法について検討・調整する。	水位周知河川以外の河川において、想定し得る浸水区域や浸水深など水害危険性を周知する方法について検討・調整する。	水位周知河川以外の河川において、想定し得る浸水区域や浸水深など水害危険性を周知する方法について検討・調整する。	水位周知河川以外の河川において、新たに水位周知河川に指定する河川を検討する。想定し得る浸水区域や浸水深など水害危険性を周知する方法を検討・調整する。	国が行う水害危険性の周知に係る情報提供。
⑤ 要配慮者利用施設における避難場所の確保・訓練等に関する取組を促進	F	継続実施	避難確保計画の策定や訓練等に関する取組を促進する。毎年、要配慮者利用施設の管理者に対して避難確保計画等の説明会を実施し、避難確保計画の策定や訓練等に関する取組を促進する。【R2年度開始】	避難確保計画の策定や訓練等に関する取組を促進する	避難確保計画の策定や訓練等に関する取組を促進する	避難確保計画の策定や訓練等に関する取組を促進する	避難確保計画の策定や訓練等に関する取組を促進する	避難確保計画の策定や訓練等に関する取組を促進する	避難確保計画の策定や訓練等に関する取組を促進する	要配慮者利用施設管理者向けの説明会など、要配慮者支援体制の構築への支援	要配慮者利用施設管理者向けの説明会など、要配慮者支援体制の構築への支援	要配慮者利用施設における訓練への支援	要配慮者利用施設管理者向けの説明会など、要配慮者支援体制の構築への支援	要配慮者利用施設管理者向けの説明会など、要配慮者支援体制の構築への支援
⑥ 円滑な避難・氾濫後の復旧のための道路管理者との連携	E	継続実施	道路管理者と連携を図り、避難経路等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	道路管理者と連携を図り、避難経路等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	道路管理者と連携を図り、避難経路等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	道路管理者と連携を図り、避難経路等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	道路管理者と連携を図り、避難経路等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	道路管理者と連携を図り、避難経路等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	道路管理者と連携を図り、避難経路等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	道路管理者と連携を図り、避難経路等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	道路管理者と連携を図り、避難経路等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	道路管理者と連携を図り、避難経路等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	道路管理者と連携を図り、避難経路等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する	道路管理者と連携を図り、避難経路等を検討し、必要に応じて地域防災計画を更新する
⑦ 危機管理型水位計による洪水時の避難勧告等の発令判断に活用できる水位情報及び河川監視カメラ画像の提供	I	継続実施								川の防災情報ホームページの「川の水位情報」を通じて、水位情報及び画像を提供			川の防災情報ホームページの「川の水位情報」を通じて、水位情報及び画像を提供	

2) ソフト対策の主な取組

具体的な取組の柱		目標時期	実施する機関																
事業	具体的な取組		釧路市	釧路町	標茶町	弟子屈町	鶴居村	釧路総合振興局	釧路地方気象台	北海道警察路方本部・各警察署	釧路開建	厚岸町	白糠町	浜中町					
	⑧ スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供及び洪水予報等のプッシュ型で情報発信の実施	F	継続実施						リアルタイム情報や洪水予報等を携帯電話、スマートフォンを通じてプッシュ型配信で実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「今後の雨」の予報を6時間先から15時間先までに延長（H30.6）</li> <li>・「危険度分布（洪水害）」を、スマートフォン等の位置情報機能を活用し、自分のいる場所の「危険度分布」をワンタッチで表示できるように改善を実施（H30.8）</li> <li>・台風の接近等による大雨等により顕著な災害の発生が想定される、あるいは既に発生している際に、気象庁が持つ危機感をより効果的に伝えるため、災害情報Twitterアカウントを新たに開設（R1.10）</li> <li>・より多くの方に気象庁の危機感を伝えるため、YouTubeを利用した「緊急記者会見」のライブ中継を開始（R2.3）</li> <li>・「危険度分布」における危険度の高まりをプッシュ型で通知するサービスを、気象庁の協力の下で民間の協力事業者が開始。通知サービスでは、ユーザーが登録した地域における危険度の変化に気付くことができるように、スマートフォンのアプリやメール等で知らせする。（R1.7）</li> </ul>					平成28年3月末から「川の防災情報 スマホ版」、平成30年6月から「川の防災情報 英語版【試行版】」（パソコン・スマホ共通）の情報配信を開始 https://www.river.go.jp/e/ 令和2年2月26日簡易型河川監視カメラ画像のウェブ提供を開始。 「川の水位情報」 https://k.river.go.jp				
◆平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する取組																			
	① 想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	D	継続実施						釧路川（道管理区間）・別保川の想定最大規模を含めた洪水浸水想定区域図を平成30年6月に作成・周知					新釧路川・釧路川（国管理区間）の想定最大規模を含めた浸水想定区域を平成28年6月に作成・周知					
	② 想定最大規模も含めた浸水想定区域図等に基づいたハザードマップの作成と周知	D	継続実施	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等に基づいて、ハザードマップを作成・周知を行う	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等に基づいて、ハザードマップを作成・周知を行う	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等に基づいて、ハザードマップを作成・周知を行う	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等に基づいて、ハザードマップを作成・周知を行う	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等に基づいて、ハザードマップを作成・周知を行う											
	③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまちごとハザードマップの更新に向けた検討	D	継続実施			想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまちごとハザードマップの見直しを検討する		令和3年4月に配布する「想定最大規模の洪水に係る浸水想定に基づいた釧路川上流部及び釧路川支川（鑑別川、豊栄利別川、仁多川、尾札部川）を含めた洪水・土砂災害ハザードマップ」の精度の向上を図る。						作成支援					
	④ 観光客や市町村外への通勤、通学等の住民に対する平時及び発災時の情報発信方法の検討を行う。	A F G	継続実施	観光客や市町村外への通勤、通学等の住民に対する平時及び発災時の情報発信方法の検討を行う。	観光客や町外への通勤、通学等の住民に対する平時及び発災時の情報発信方法の検討を行う。	観光客や町外への通勤、通学等の住民に対する平時及び発災時の情報発信方法の検討を行う。	観光客や町外への通勤、通学等の住民に対する平時及び発災時の情報発信方法の検討を行う。	観光客や町外への通勤、通学等の住民に対する平時及び発災時の情報発信方法の検討を行う。	観光客や市町村外への通勤、通学等の住民に対する平時及び発災時の情報発信方法の検討を行う。						観光客や市町村内外への通勤、通学等の住民に対する平時及び発災時の情報発信方法の検討を行う。				
	⑤ 釧路川水系の特徴を踏まえた幼少期からの防災教育の継続実施及び拡充	A G	継続実施	市内の学校の授業及び出前講座を中心とした防災教育・研修等の実施を検討	町内の学校の授業及び出前講座を中心とした防災教育の実施を検討	町内の小学校を中心とした防災・河川環境教育を継続実施し、地域防災力の向上を推進する	町内の学校の授業及び出前講座を中心とした防災教育の実施を検討	村内の学校の授業及び出前講座を中心とした防災教育の実施を検討	防災教育の支援を行う	防災教育の支援を行う	防災教育の支援を行う				防災教育の支援を行う				

